

移住・定住促進

アナ： 「市長が語る 2016 三島」第9回の今日は、移住・定住促進についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願いします。

市長： よろしく申し上げます。

アナ： 三島市では、新しい人の流れを創出するため、首都圏などからの移住を促進する、様々な取り組みを行っていくということですが、どのような取り組みを始められるのでしょうか。

市長： 三島市では、安定した人口構造を保持し、若い世代を中心に、将来にわたって市民が安心して働き、希望に応じて結婚、出産、子育てをすることができる地域社会を構築するため「住むなら三島・総合戦略 ～まち・ひと・しごと創生～」を策定しました。この総合戦略に掲げます移住・定住施策の推進として、『すむ』まち三島プロジェクトを進めて参ります。

アナ： 移住・定住施策の推進として、『すむ』まち三島プロジェクトを進めるとのことですが、具体的にはどのような内容のプロジェクトとなるのでしょうか。

市長： このプロジェクトでは、物件探しから、新生活のスタートまで、切れ目の無いサポートをめざし、主に3つの事業を実施していきます。

まず1つ目が、昨年度からスタートしました「既存住宅流通促進事業」です。これは、中古一戸建て住宅の健康診断を市が無料でを行い、その結果と併せまして、住宅情報や、生活に必要な情報を市のホームページで紹介するものです。これによりまして、移住を希望される方が、取得しようとする住宅の品質や性能を正確に知ることができますので、安心して中古一戸建て住宅を選んでいただけるというものです。

アナ： 中古一戸建て住宅の健康診断を市が行うということは、購入を考えている方には、ありがたいですね。他にはどのような事業を実施されるのでしょうか。

市長： 2つ目は、三島市に移住を希望する若い世帯の方に対しまして、住宅の取得に必要となる資金の一部を支援する「住むなら三島移住サポート事業」です。この事業は、平成28年4月1日以降に、市外から新たに三島市内に住宅を取得又は建設する、夫婦いずれかが40歳未満の若い世帯を対象に、静岡県内の別の市町から転入する場合には50万円を、県外から転入する場合には120万円を補助するものです。子育て世帯に対しましてはさらに、30万円を上限に、中学生以下のお子さん1名につき10万円を上乗せして補助を行います。

アナ： なるほど、例えば、首都圏からの移住者で、中学生以下のお子さんが3名いる40歳未満の世帯では、150万円の補助金が受けられるのですね。では、3つ目の取り組みは、どのようなものなのでしょうか。

市長： 3つ目は、「移住・子育て・耐震リフォーム事業」です。これは、子育て世帯や、県外からの移住者世帯、また、耐震補強工事を行う世帯に対しまして、リフォーム工事に要する費用を助成することで、三島市への移住・定住の促進や、子育て支援を図ると共に、住宅の耐震化を促進する事業です。中学生以下のお子さんがある子育て世帯には、対象事業費の30%で30万円を上限に、県外からの移住者で夫婦いずれかが40歳未満の世帯につきましては、対象事業費の20%で20万円を上限に、また、耐震補強工事と併せて行うリフォーム工事につきましては、対象事業費の15%で15万円を上限に補助を行っています。

アナ： 住宅取得への補助金だけではなく、リフォームにも補助金が出るのですね。

市長： 以前より実施しています「木造住宅耐震補強助成事業費補助金」50万円と併せますと、昭和56年5月以前の中古木造住宅であれば、最大で265万円の補助を受けることも可能となります。

アナ： 最大で265万円ですか、これは、ぜひとも移住を希望される方にお伝えしたい情報ですね。

市長： はい。数ある自治体の中から三島市を選んでいただくために、三島市では様々な制度を整備しているところです。しっかりとプロモーションを行って、多くの方に三島市に移り住んでいただけるよう、今後も市全体で取り組んで参ります。

アナ： 豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。